

おんじゆく 広報

No. 40

昭和40年5月28日発行

発行人 井上文吉

編集者 東 栄 蔵

発行所 御宿町役場



町村合併10周年記念

町勢特集号

'65

主な内容

人	口	3
財	政	5
農	業	9
漁	業	12
商	工 業	15
教	育	17
民	生 衛 生	19
運	輸 通 信	21
町	民 の 生 活	24

素足になって、きれいな渚を思う
存分かける――。



巻頭のことは

南に静かな網代湾を眺め、東西と北に小高い丘を擁し、自然美豊かな新御宿町として誕生してから、早くもここに満10周年を迎えましたことは、町の皆さんとともに感慨深いものがあります。この間新しい時代にそった自治体として、真に血のかよう行政、人情の豊かさを反映する運営を主眼とし、新町建設計画の推進に努めてまいりましたが、各般にわたっておおむねその実現をみ、新自治体としての体勢を確立する見透しにいたりしました。

昭和40年5月28日

今後はさらに、この基盤の上に立って、理想郷「御宿」の実現のため皆さんとともに努力いたす信念であります。ここに10年間の足跡を顧み、町勢特集号を発行し、ご利用いただくとともに、町政施策の資料となりますよう心掛けたものであります。

町村合併10周年を迎え、町民のみなさまに、深く感謝の意を表するとともに、一層のご協力を切にお願い申し上げる次第でございます。

御宿町長 井上文吉

人 口

昭和30年の合併以来、本町人口の減少傾向はいまだに続いている。

昭和30年10月1日現在の人口 9,753人（国勢調査）、昭和39年10月1日現在の人口 8,958人（推計）。この10年間に 795人、年平均79人づつ人口が減ったことになる。

これは自然動態（出生－死亡）による増加を社会動態（転入－転出）における転出人口がはるかにうわまわるためである。

このように転出人口の多いのは青年層、と

くに18才～24才までの人達が都市を中心として就職して行くため、5才階級別の人口構成をみると、この年令層における男子の数が非常に少ないことがわかる。

これは本町にこの年代の人口をとどめておくだけの産業がないからであるが、この悩みは、本町のみでなく、県下農漁村地帯全般的な現象であり、人口は猛スピードで都市に集中していることが容易に想像できる。

昭和35年国勢調査による15才以上の就職者 4,297人の産業をみると、第一次産業が52%、第二次産業が16%、第三次産業が32%で、依然として第一次産業の比率が高いのは、農業就職者が多いためである。



■人口の推移

年次	世帯数	人口			前年に対する増減	女100対する男	1世帯平均人員	人口密度 1 km ²	面積 km ²	摘要
		総数	男	女						
昭和30年	2,022	9,753	4,519	5,234		86.3	4.8	389	25.04	国勢調査布施岩和田合併推計
31	2,013	9,630	4,437	5,193	△ 123	85.4	4.8	385	"	
32	2,014	9,590	4,388	5,202	△ 40	84.4	4.8	383	"	"
33	2,024	9,445	4,304	5,141	△ 145	83.7	4.7	377	"	"
34	2,029	9,402	4,267	5,135	△ 43	83.1	4.6	375	"	"
35	2,047	9,273	4,313	4,960	△ 129	87.0	4.5	370	"	国勢調査推計
36	2,046	9,176	4,250	4,926	△ 97	86.3	4.5	367	"	"
37	2,050	9,134	4,230	4,904	△ 42	86.3	4.5	365	"	"
38	2,050	9,056	4,188	4,868	△ 78	86.0	4.4	362	"	"
39	2,057	8,958	4,117	4,841	△ 98	85.0	4.4	358	"	"

■人口動態 (年次別)

年次	自然動態			社会動態			社会動態		
	出生	死亡	自然増減 出生-死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会動態
昭和30年	184	74	110	19	68	9	484	784	△ 300
31	167	97	70	16	65	2	422	586	△ 164
32	168	114	54	23	73	5	370	635	△ 265
33	172	110	62	16	77	5	347	538	△ 191
34	173	99	74	18	87	7	294	388	△ 94
35	150	99	51	10	65	2	297	418	△ 121
36	137	103	34	15	67	3	291	432	△ 141
37	152	78	74	25	86	7	339	414	△ 75
38	157	92	65	18	86	7	337	438	△ 101
39	169	80	89	17	67	5	313	477	△ 164

■地区別世帯および人口

部落名	世帯数	人口 (35.10.1)			昭和30年と比較(△は減)	
		総数	男	女	昭和30年人口	増減数
須賀	277	1,134	523	611	1,127	7
浜	222	1,031	486	545	1,137	△ 106
高山田	75	400	198	202	433	△ 33
久保	183	857	389	468	963	△ 106
新町	369	1,539	699	840	1,425	114
六軒町	193	751	349	402	833	△ 82
小計	1,319	5,712	2,644	3,068	5,918	△ 206
七本	30	145	73	72	162	△ 17
実谷	106	575	270	305	645	△ 70
上布施	186	992	473	519	1,083	△ 91
小計	322	1,712	816	896	1,890	△ 178
岩和田	406	1,849	853	996	1,945	△ 96
合計	2,047	9,273	4,313	4,960	9,753	△ 480

財 政

昭和40年度本町一般会計の総予算は昨年より約3千万円増えて、1億1千975万4千円。

このうち道路の改良、新設、漁民住宅建設費を含む土木費が32%で第1位を占めている。他は総務、民生、教育、消防、商工観光費の順となっている。

歳入では、地方交付税（国が町へくれる金）が32%、国庫支出金が17%、このほか県支出金、寄附金、町債などを合わせた、依存財源が全収入の65%を占めているのに対し、町税はわずか19%で、国、県への依存度が高い。



昭 和 40 年 度 御 宿 町 一 般 会 計 予 算

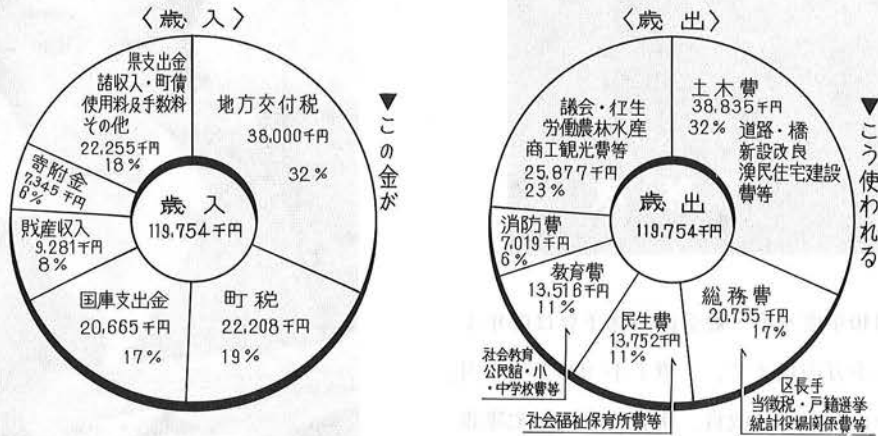
(歳入)

(歳出)

(単位千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	本年度予算額の財源内訳			
								特 定 財 源			一 般 財 源
								国 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	
1 町 税	22,208	20,372	1,836	1 議 会 費	2,825	2,775	50				2,825
2 地方交付金	38,000	35,000	3,000	2 総 務 費	20,755	16,876	3,879	773		6,561	13,421
3 分担金及負担金	2,214	1,226	988	3 民 生 費	13,752	9,444	4,308	4,707		4,730	43 15
4 使用料及手数料	2,127	2,356	△ 229	4 衛 生 費	5,045	1,339	3,706	370		1,463	3,212
5 国庫支出金	20,665	9,686	10,979	5 労 働 費	1,919	2,038	△ 119	9 60			959
6 県 支 出 金	6,203	1,545	4,658	6 農 林 水 産 業 費	6,260	5,077	1,183	810		1,514	3,936
7 財 産 収 入	9,281	9,515	3,366	7 商 工 費	3,455	1,730	1,725			300	3,155
8 寄 附 金	7,345	1,555	5,790	8 土 木 費	38,835	8,308	30,527	18,519	4,000	11,626	4,690
9 繰 越 金	3,000	3,000	0	9 消 防 費	7,019	5,901	1,118			2,420	4,599
10 諸 収 入	4,711	866	3,845	10 教 育 費	13,516	27,870	14,354	729		64	12,723
11 町 債	4,000	7,000	△ 3,000	11 公 債 費	6,073	5,563	510				6,073
				12 諸 支 出 金	0	1,300	△ 1,300				0
				13 予 備 費	300	300	0				300
歳 入 合 計	119,754	88,521	31,233	歳 出 合 計	119,754	88,521	31,233	26,868	4,000	28,678	60,208

40年度予算の内訳



■決算額の累年比較 (一般会計)

(単位 千円)

年 度	歳 入	歳 出	差 引
昭和30年度	40,762	33,841	6,921
31	44,450	42,741	1,709
32	49,569	49,405	164
33	54,225	51,072	3,153
34	68,807	66,643	2,164
35	77,408	76,920	488
36	94,667	86,901	7,766
37	105,439	93,938	11,501
38	133,805	122,757	11,048

■昭和38年度決算

(単位 千円)

歳 入			歳 出		
款 項	収入済額	構成比	款 項	支出済額	構成比
歳入 総額	133,805	100.0	歳出 総額	122,757	100.0
1. 町 (村) 税	21,668	16.2	1. 会 議 費	2,605	2.1
2. 地方交付税	37,103	27.8	2. 役 場 費	15,281	12.5
3. 財産収入	4,619	3.4	2. 役 場 費	5,540	4.5
4. 分担金負担金	4,779	3.6	4. 土 木 費	9,143	7.5
5. 使用料及手数料	2,401	1.8	5. 教 育 費	19,867	16.2
6. 国庫支出金	28,092	21.0	6. 社会及労働施設費	8,593	7.0
7. 県支出金	11,684	8.7	5. 保 健 衛 生 費	1,044	0.8
8. 寄 付 金	1,350	1.0	8. 産 業 経 済 費	43,273	35.3
9. 繰 入 金			9. 財 産 費	4,316	3.5
10. 繰 越 金	11,502	8.6	10. 統 計 調 査 費	325	0.3
11. 雑 収 入	3,107	2.3	11. 選 挙 費	659	0.5
12. 町 (村) 債	7,500	5.6	12. 公 債 費	6,909	5.6
			13. 諸 支 出 金	5,202	4.2
			14. 予 備 費	0	0

租 税

(単位 千円)

■ 税収入額の 累年比較

	調定額	徴収額	欠損額	徴収率
昭和30年度	16,905	13,210	0	78.1%
31	17,623	14,730	0	83.6
32	18,012	14,959	785	83.1
33	17,303	14,921	303	86.2
34	17,367	15,576	0	89.7
35	17,846	16,181	64	90.7
36	19,022	17,552	42	92.3
37	21,582	20,245	28	93.8
38	23,010	21,668	85	94.2

■ 徴税状況 (昭和38年度)

(単位 千円)

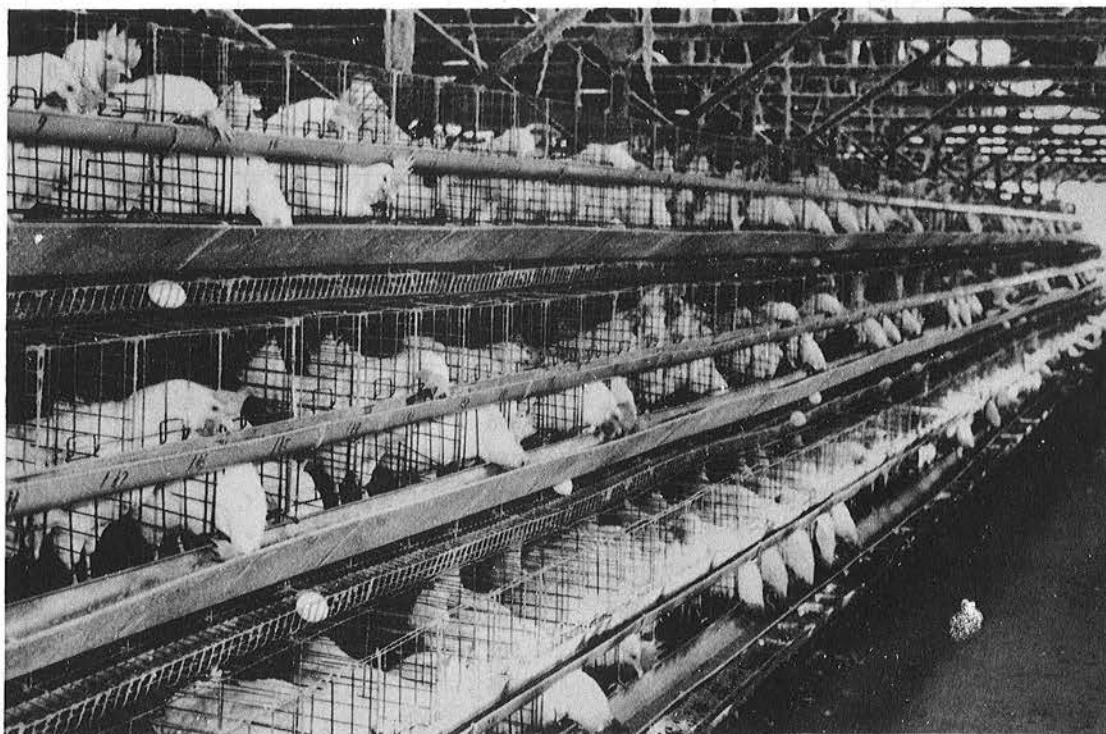
税種別	調定額	徴収額	欠損額	徴収率
総額	23,010	21,668	85	94.2
町民税	5,188	4,986	2	96.1
固定資産税	10,992	9,906	80	90.1
軽自動車税	691	637	3	92.2
たばこ消費税	4,402	4,402		100.0
電気ガス税	1,703	1,703		100.0
木材引取税	34	34		100.0
その他 旧法による税収入				

■ 町民負担の状況

区分 年度	町税総額		一世帯当り 一人当り		備 考
	円	円	円	円	
昭和30年度	13,618,000	6,753	1,396		滞納繰越金を除きタバコ、電気ガス 税等を含む
昭和31年度	14,262,000	7,053	1,452		
昭和32年度	15,119,000	7,477	1,550		
昭和33年度	15,040,000	7,438	1,542		
昭和34年度	14,883,000	7,311	1,526		
昭和35年度	15,166,000	7,408	1,635		
昭和36年度	17,467,000	8,537	1,903		
昭和37年度	20,147,000	9,827	2,205		
昭和38年度	21,712,000	10,591	2,399		

合併以来曲り角に立った農林漁業の振興策は、ちまたの輿論として、その強力な実施を要望されているが、慎重な調査研究の結果、昭和34年度より3ヵ年計画をもって、国、県の助成のもとに、新農山漁村建設計画として新しい町建設の基礎づくりがはじめられた。以来年度を追ってその主な実施事業をみると、初年度には上布施、各実行組合のかんがい排水事業 15.3町歩。岩和田漁協の海女作業所 8棟、及び放送施設、上布施生活改善センターの完成を見、35年度には岩和田漁協水産荷捌所、有線放送施設千戸、桜ヶ丘養鶏組合の1万羽養鶏共同鶏舎の建設、ついで翌36年度

には共同畜舎として豚舎1ヵ所（300頭）、鶏舎2ヵ所（1万羽）岩和田漁協給油施設建設など、総事業費2,700万円（内国庫補助が960万）を以て3ヵ年にわたる建設計画を完了した。その後におけるこれらの施設の活用は目覚しく、本町産業振興の原動力となっている。次いで翌37年から現在まで、農業ならびに沿岸漁業構造改善事業が進められており養鶏団地の建設、みかん園の造成など、企業化された農林漁業への体質改善を目指して、目下計画の立案と具体的な実施計画を進めている。



農 業

本町の耕地面積は、全面積の約20%に当る456町歩である。農家1戸当りの耕作面積は田において5反4畝、畑1反6畝と少ない。近年山林を開墾してみかんを新植しつつあるが、また一方耕地を宅地や山林に転用する傾向が見られるため、耕地面積の大巾な増加は考えられず、農作物の増収は基盤整備による現耕地の改良、二毛作などによりはからなければならぬ。

農家を広狭別に見ると、農家総数688戸中1反～3反までの農家が195戸、3反～5反までが112戸、5反～7反までが81戸、7反～1町までが126戸で、1町未満の小規模農家が全体の75%を占め、1町以上の農家はわずか174戸で本町の農業がいかに小規模であるかがわかる。このため、農業収入も低く他産業へ日雇などに出て農業収入の不足を補な



っている現状なので専業農家は全体のわずか15%である。

畜産物については、協業経営などにより飼育頭羽数の増加に多少見るべきものがあり、またみかんの新植もようやく軌道にのりつつあるが、まだ一般農家の経営に役立つようにはなっていない。

農業構造改善事業による高山田、久保地域の基盤整備も昭和41年度を目指して実施準備中であり、この成果が待たれる。これらの諸条件により、除々にではあるが本町の農業も一つの転換期にさしかかったといえよう。



■農 家 人 口

35 年			39 年		
総 数	男	女	総 数	男	女
4,019 ^人	1,880	2,139	3,586 ^人	1,709	1,877

■経営耕地規模別農家

(単位 戸)

	総 数	1反～3反	3反～5反	5反～1町	1町～1.5町	1.5町以上	例外規程
昭和31年	772	242	136	226	153	15	
32	782	248	138	229	151	16	
33	767	246	122	227	15	14	
35	745	221	123	215	157	17	12
38	707	209	110	206	153	22	7
39	695	195	112	207	152	22	7

■専業、兼業別農家数

部 落 名	昭 和 35 年					昭 和 39 年				
	総 数	専 業	兼 業			総 数	専 業	兼 業		
			総 数	第一種兼業	第二種兼業			総 数	第一種兼業	第二種兼業
総 数	745	135	610	284	326	695	105	590	254	336
御 宿	346	61	285	96	189	316	37	279	94	185
布 施	282	71	211	186	25	276	66	210	160	50
岩 和 田	117	3	114	2	112	103	2	101		101

■耕地の広狭別経営面積

昭和39年2月1日現在

	農家数	耕 地 面 積							
		総 数	田		果 樹 園		普 通 畑		
			農家数	面 積	農家数	面 積	農家数	面 積	
総 数	692	456.3.2	651	356.1.2	10	2.9	634	99.9.1	
1反～3反	195	36.9'8	158	24.1.3			151	12.8.5	
3反～5反	112	43.2.4	112	34.1.7	2	4	101	9.0.3	
5反～7反	81	47.4.2	81	37.3.3	1	2	79	10.0.7	
7反～1町	126	106.1.5	126	84.1.2			126	22.0.3	
1町～1.5町	152	186.0.8	152	146.0.0	7	2.3	151	39.8.5	
1.5町～2町	21	34.3.1	21	28.5.9			21	5.7.2	
2町～3町	1	2.0.0	1	1.7.8			1	2.2	
例 外 規 定	4	1.4					4	1.4	

注 昭和34年はセンサスによる1反以上の農家、31年、32年、33年、35年、36年は県農業調査による2畝以上の農家、37年、38年、39年は県農業調査による1反以上の農家

■主要作物収穫面積の累年比較

	水 稻	大 麦	甘 藷
	反	反	反
昭和31年	3,393	817	334
32	3,381	737	308
33	3,383	702	288
34	3,369	606	240
35	3,385	623	278
36	3,368	522	226
37	3,353	374	197
38	3,309	320	193
39	3,306	298	181

■家 畜

	乳用牛	役肉用牛	馬	めん羊	山 羊	豚	にわとり
	頭	頭	頭		頭	頭	羽
昭和31年	45	248	26	—	66	108	2,726
35	65	217	9	—	24	100	4,985
38	150	157	4	—	17	395	21,255
39	162	148	—	—	—	385	19,376

■農用機械種類別所有

(単位 台)

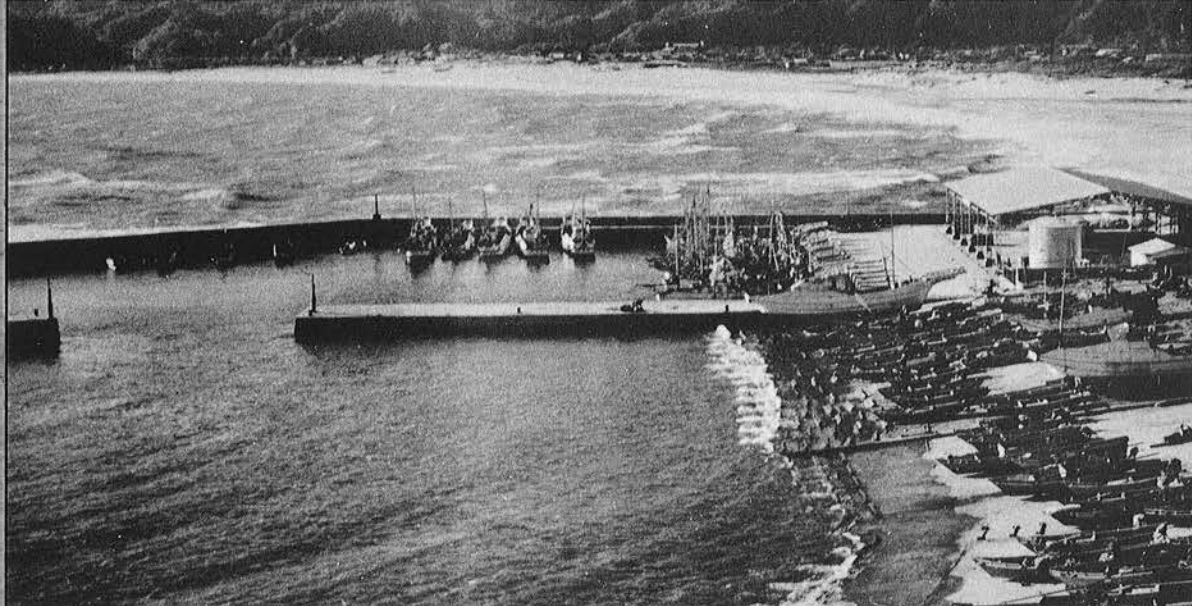
	動力耕耘機		発動機	電動機	動力脱穀機		動力 剝溜機	動力 噴霧機	動力 撒粉機	農用トラ ック・オ ート三輪	穀類 乾燥機
	駆動型	索引型			普通型	全自動					
昭和31年	4	52	230	86	303		77	1	1	5	
35	5	187	261	138	355		121	39	—	3	65
38	1	217	284	188	324	34	121	12	3	9	110

■農家の文化生活

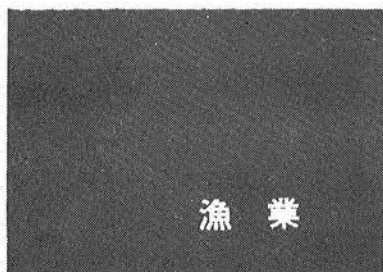
(単位 戸)

	テレビ	電気洗濯機	電気掃除機	電気冷蔵庫	電気釜	ガスコンロ	ミシン	オートバイ・モーターバイク	家計簿の記帳農家
昭和38年	545	125	15	55		309		157	144
39年	599	201	28	144	101	413	381	217	158

注・電気釜、ミシンについては38年は調査せず



岩和田漁港



全世帯の13%にあたる、270世帯が漁業を営んでいるが、あぐり網漁業の衰微と、夏だけ漁業に従事する人たちが多いため、専業は24世帯（9%）にすぎない。

漁船 313隻のうち98%が5トン未満で、全部が沿岸漁業である。

御宿漁港…昭和32年に新漁港建設に着工、旧港北側に面積 6.4平方メートル 深さ 2.5メートル、舟曳場延長49メートル、荷揚場延長62メートル 総工費 5,744万円が39年完成。

岩和田漁業…昭和33、34年度に第一次、35、36年度で第二次局部改良工事（工費 3,900万円）を完了した。

この漁港整備と合せ、第一、

第二冷蔵庫、漁民会館、海女作業所 8棟、漁業放送施設、共同荷捌所、給油施設、防波堤灯台、航路標識を建設し、さらに現在第三次改修計画として旧港の拡張工事を進めている。

御宿、岩和田漁業協同組合ともに、沿岸漁場における魚族の増大と、新しい漁場を開拓するため、築磯、魚礁設置、磯根漁場の整備 漁船の近代化など構造改善を着々と進めている。



注：動力船3トン未満の中に船外機船を含む。

■漁船隻数

年次	総数	無動力船	動力船						
			総数	3t未満	3~5t	5~10t	10~20t	20~30t	30t以上
31	220	143	77	54	2	6	9	6	—
32	204	135	69	49	3	3	8	6	—
33	222	151	71	50	5	2	8	6	—
37	252	9	243	202	23	4	8	6	—
38	254	7	247	214	21	2	4	6	—
39	313	7	306	268	31	2	3	2	—

■漁業別水揚量

(単位トン)

種別	昭和36年			昭和37年			昭和38年		
	計	岩和田	御宿	計	岩和田	御宿	計	岩和田	御宿
総計	2,472.5	1,438.1	1,034.4	2,909.4	1,822.7	1,086.7	3,679.3	1,199.5	2,479.8
二そうまきあぐり巾着網	336.7		336.7	25.0		25.0	1,472.0	0	1,472.0
刺網	69.4	52.9	16.5	97.9	76.3	21.6	211.5	148.5	63.0
さば釣	1,415.7	1,012.5	403.2	1,364.1	1,150.1	214.0	677.7	538.7	139.0
いか釣	72.2	40.4	31.8	51.3	31.6	19.7	54.2	30.2	24.0
その他の釣	42.1	29.5	12.6	75.9	51.1	24.8	105.4	80.4	25.0
その他の延縄	114.1	80.4	33.7	83.4	53.0	30.4	66.0	48.0	18.0
地びき網	31.5		31.5	45.8		45.8	40.0	0	40.0
採貝	103.9	94.4	9.5	78.9	64.5	14.4	126.8	115.0	11.8
採藻	198.9	82.7	116.2	1,031.1	362.7	668.4	884.6	216.6	668.0
突棒	0.3	0.3		0.2	0.1	0.1	0	0	0
その他の漁業	87.7	45.0	42.7	55.8	33.3	22.5	41.1	22.1	19.0

■年次別組合別水揚高

(単位：千円)

種別	昭和36年			昭和37年			昭和38年		
	計	岩和田	御宿	計	岩和田	御宿	計	岩和田	御宿
魚類	92,044	71,005	21,039	142,986	73,403	69,583	188,873	125,365	63,508
貝類	60,033	53,827	6,206	50,069	41,275	8,794	76,740	68,942	7,798
藻類	4,794	4,222	572	4,604	2,875	1,729	4,495	3,046	1,449
その他	7,063	3,341	3,722	5,196	3,956	1,240	6,913	4,306	2,607
計	163,934	132,395	31,539	202,855	121,509	81,346	277,021	201,659	75,362

注：その他とは水産動物のいか、たこ、いせえびである。

■専業、兼業別世帯数

(昭和38年漁業センサス)

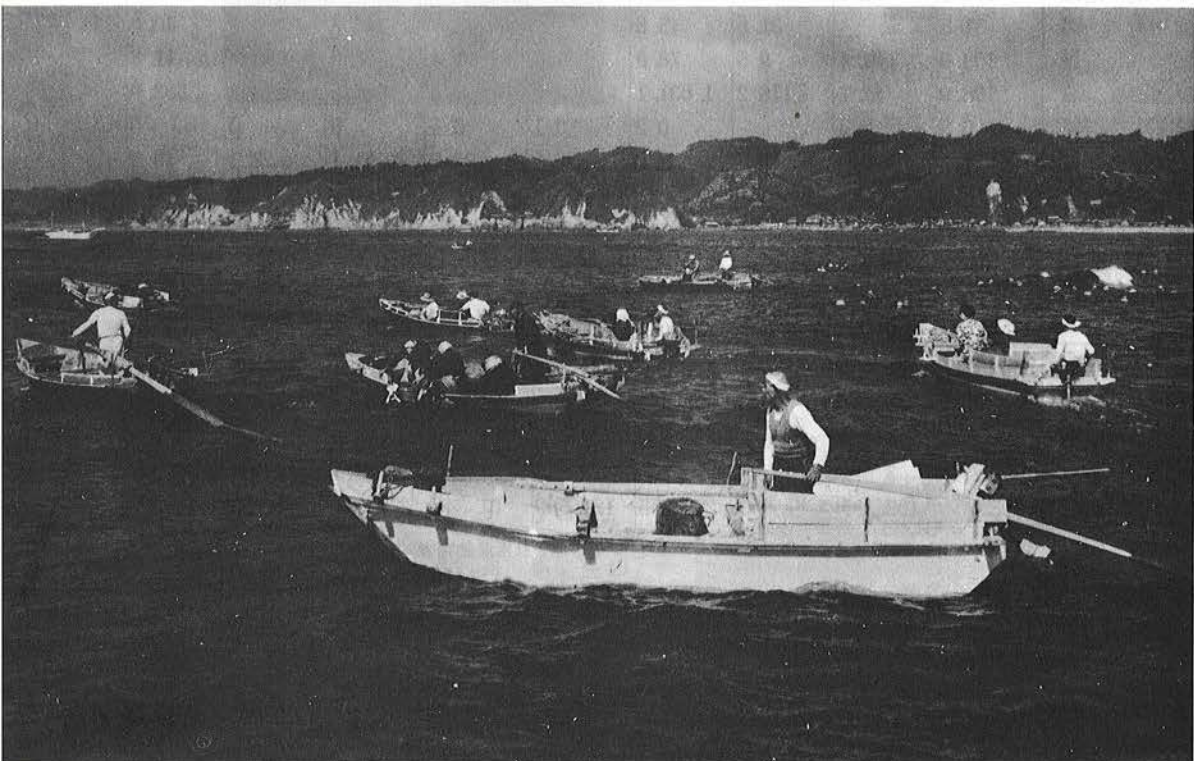
組合別	総数	専業	兼業 総数	第一種兼業				第二種兼業			
				総数	自営兼業のみ	自営兼業とやとわれのみ	やとわれのみ	総数	自営兼業のみ	自営兼業とやとわれのみ	やとわれのみ
総数	270	24	246	95	27	27	41	151	15	56	80
岩和田	220	15	205	84	21	26	37	121	12	51	58
御宿	50	9	41	11	6	1	4	30	3	5	22

■魚種別水揚量

昭和 38年

単位トン

魚 種 別	組 合 別			魚 種 別	組 合 別		
	計	岩和田	御 宿		計	岩和田	御 宿
かたくちいわし	1,472.0		1,472.0	い せ え び	1.0	0.4	0.6
ま さ ば	677.4	538.7	138.7	水産動物小計	1.0	0.4	0.6
い な だ	223.8	144.4	79.4	わ か め	0.6	0.6	
ま だ い	100.2	80.4	19.8	て ん ぐ さ	1.0	1.0	
め だ い	65.2	48.0	17.2	他の寒天原藻			
そ の 他 の 魚	101.3	52.3	49.0	ひ じ き			
魚 類 小 計	2,639.9	863.8	1,776.1	か じ め	14.6	14.6	
あ わ び	82.6	73.6	9.0	他 の 藻 類	868.4	200.4	668.0
さ ざ え	44.2	41.4	2.8	藻 類 小 計	884.6	216.6	668.0
貝 類 小 計	126.8	115.0	11.8	合 計	3,652.3	1,195.8	2,456.5



商工業

商業

飲食店を含む本町の商店数は 181 店、年間販売額は 6億 400万円である。

このうち、飲食店と飲食料品小売業が60%を占めており、全商店の96%が従業員9人以下の商店である

工業

あぐり漁業の不振のため、イワシ加工業の減少が目だつ反面、石綿、メリヤス、機械工業の誘致により、39年の工業生産額は 5億 5千 800万円と、38年より34%伸びているが、商業と同じく従業員9人以下の工場が74%で小企業が多い。



■年次別商店数・従業者数・販売額

年次	商店数	従業者数	販売額		手数料 サービス 料収入	商 品 手 持 額	売場面積 (平方米)	営 業 支 出 額
			月 間	年 間				
			千円	千円	千円	千円	千円	千円
33	181	405	26,568	303,720	2,973	37,996	3,517	17,437
35	196	453	29,493	366,250	3,187	38,059	4,527	20,198
37	179	411	40,740	455,880	2,440	58,640	5,066	32,940
39	170	382	51,795	595,996	3,282	76,279	4,002	50,071

■昭和39年商業調査・産業別商店数・従業者数・販売額

(中分類) 金額単位：千円

	商店数	従業者数	売場面積 (平方メートル)	月間販売額	年間販売額	商品手持額 (6.31現在)	代理・仲立 手数料収入	修理料 サービス 料収入
				(39年6月)	(38.7~ 39.6)			
総数	170	382	4,002	51,795	595,996	76,279		3,282
一般卸売業	9	23		8,145	98,376	8,318		
代理商仲立業								
織物・衣服・身の廻り品小売業	21	64	715	12,810	146,000	30,928		420
飲食料品小売業	96	183	2,020	16,397	197,213	14,716		—
自転車荷車小売業	6	11	141	2,044	21,268	2,526		1,400
家具建具・什器小売業	14	33	440	4,172	42,959	6,925		770
その他の小売業	24	68	686	8,227	90,180	12,866		692
飲食店	11	27	—	—	8,460	—		—

■年次別工場数・従業者数・製造品出荷額

年次	組織別事業所数			従業者数			製造品出荷額(千円)			
	計	法人	個人	計	常用 労働者数	業主及び 家族従業者	計	製造 品出 荷額	加工 賃取 入額	修理料 その他
昭和30年	58	14	44	226	121	105	231,969	228,684	1,827	1,458
31	58	14	44	366	41	325	194,443	191,205	2,223	1,015
32	60	16	44	387	293	94	264,879	261,432	2,941	506
33	61	16	45	410	301	109	290,070	285,880	3,282	908
34	59	16	43	377	282	95	286,725	282,302	3,734	689
35	60	13	47	351	258	93	257,151	251,374	4,857	920
36	57	14	43	365	276	89	288,295	280,703	6,742	850
37	53	14	39	334	257	77	335,600	327,020	5,820	2,760
38	59	17	42	418	331	87	416,070	408,290	4,240	3,540
39	51	17	34	515	444	71	557,750	548,960	8,490	300

注：38年調査には自動車修理業を含む

■産業中分類別工場数・従業者数・製造品出荷額 (昭和39年12月工業調査)

産業中分類	工場数	従業者数			製造品出荷額	主たる生産名
		計	常用 労働者数	業主及び 家族従業者		
総数	51	515	444	71	千円 548,960	
食料品製造業	31	282	230	52	313,870	イワシ加工品、酒、菓子
衣服その他繊維製品製造業	4	49	48	1	24,080	婦人子供服、レインコート
木材木製品製造業	7	36	27	9	41,670	各木製品
出版印刷同関連産業	2	4		4	3,800	活版印刷
その他の製造業	7	144	139	5	165,540	土石製品、機械、その他

教育

「体位体力ともに調和のとれた人間を育てよう」という方針のもとに、合併後真先に学校施設の整備に着手した。

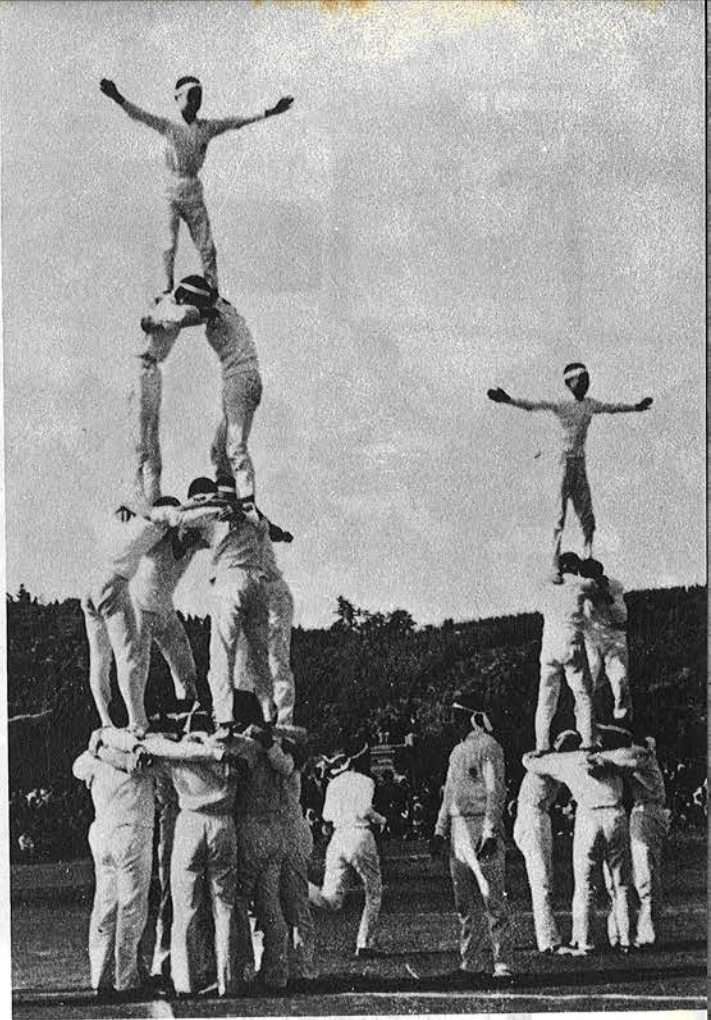
昭和31年に岩和田小学校が完成するとともに、31年に第一期工事を始めた中学校は、その後5年度にわたり、鉄筋コンクリート二階建て総面積 619坪（工事費 3,450万円）の校舎が完成し、本年4月完成の、体育館と合わせ、教育施設はすばらしいものとなった。

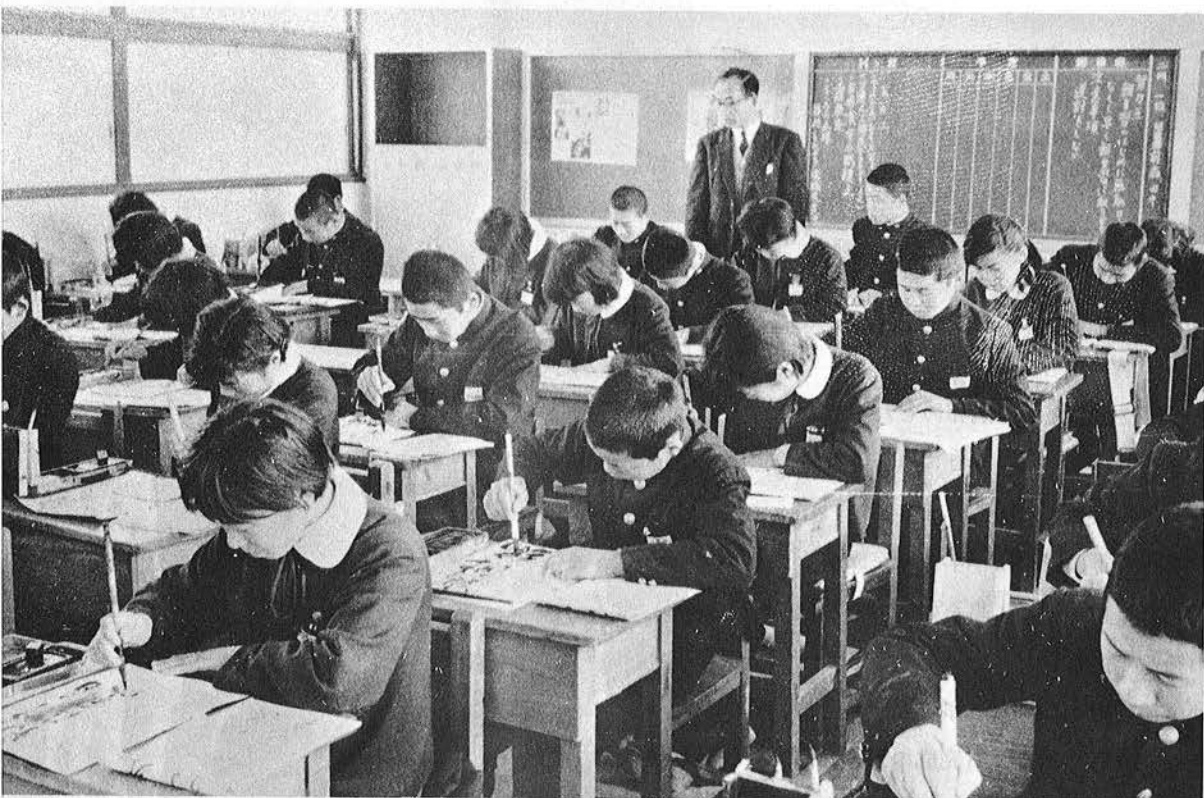
施設の整備計画とともに、31年に岩和田中、32年に布施中を統合し、よい環境で、よりよい教育のために関係者の努力が続けられている。

なお本年度で中学校4教室を増築し、中学校整備の総てを完了する。



御宿中学校





■小・中学校職員、児童（生徒）数

昭和40年5月1日現在

学校名	教職員数			学級数	児童（生徒）数			校長名
	計	男	女		計	男	女	
小「御宿小学校	22	7	15	18	640	312	328	渡辺一夫
学「岩和田小学校	8	5	3	6	199	84	115	江沢實
校「布施小学校	15	6	9	11	314	167	147	佐藤浩
小学校計	45	18	27	35	1,153	563	590	
御宿中学校	26	16	10	16	675	326	349	田辺一也
合計	71	34	37	51	1,828	889	939	

■学年別児童（生徒）数

昭和40年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
小「御宿小学校	51	52	45	42	49	53	50	65	58	60	59	56	312	328	640
学「岩和田小学校	17	10	10	21	14	13	17	22	13	19	13	30	84	115	199
校「布施小学校	22	24	29	17	22	24	29	24	37	31	28	27	167	147	314
小学校計	90	86	84	80	85	90	96	111	108	110	100	113	563	590	1,153
御宿中学校	106	108	97	98	123	143	—	—	—	—	—	—	326	349	675
合計	196	194	181	178	208	233							889	939	1,828

民生・衛生

民生

ゆりかごから墓場までの広範囲にわたる民生事業は、恵まれない人々に対する援助、こどもの保育など町民生活の福祉の増進をはかっている。

生活に困っている人々の生活保護状況は、39年中で延46世帯（132人）、保護費総額は

400万円（医療費を除く）。保育所は三ヶ所で、園児数は270人。12人の民生委員が福祉施策の推進に熱心な努力をつづけている。

衛生

結核予防対策として実施した、無料診断をはじめ、伝染病予防として、小児マヒ、種痘、百日ぜき、ジフテリア、チフスなどの予防接種、がん相談券の発行、ハエ、蚊などの害虫駆除など、町民がいつも健康であるように、公衆衛生に力を注いでいる。また、じん芥焼却場も完成し、ゴミのないきれいな街づくりにも積極的である。





■保 育 園

昭和40年2月1日現在

区 分	公私の別	所 在 地	園 長	保 母	その他	入 園 児		
						総 数	男	女
御宿第一	公	久保2180	1	5	1	90	43	47
御宿第二	公	新町419	1	5	1	90	43	47
岩 和 田	公	岩和田926	1	4	1	90	48	42
計			3	14	3	270	134	136

■御宿町における死因別死亡者数

死 因 別	死亡数	死 因 別	死亡数
全 結 核	1	胃炎十二指腸炎及び大腸炎(新生児下痢を除)	1
悪性新生物(リンパ組織及び造血組織の新生物を含む)	11	腎 炎 及 び ネ フ ロ ー ゼ	3
糖 尿 病	2	妊 娠 ・ 分 娩 及 び 産 褥 の 合 併 症	1
貧 血	1	その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児	2
中 枢 神 経 の 血 管 損 傷	32	精神病の記載のない老衰並びに診断不明確及び原因不明	5
動脈リューマチ性心臓疾患	3	そ の 他 の 全 て の 疾 患	7
そ の 他 の 心 臓 疾 患	1	そ の 他 の 不 慮 の 事 故	2
高 血 圧 性 心 臓 疾 患	1	自 殺 及 び 自 傷	3
肺炎(新性児肺炎を除く)	8	他 殺 及 び 戦 争 行 為	1
気 管 支 炎	1		
胃 及 び 十 二 指 腸 の 潰 瘍	5	計	92
虫 垂 炎	1		

運輸・通信

道路

36年度に完成した御宿小学校前道路及び、
 駅前から久保ガード下までの道路と合わせ、
 新町四ッ角から岩和田。新町為田病院脇から

六軒町へ向っての道路舗装が行なわれた。
 さらに40年度で、岩和田仲宿から漁業会に至
 る道路と、西林寺線及び六軒町通り、松風荘
 脇の道路が舗装されるので道路はぐんと良く
 なるが、今後も観光道路、農林道の整備が計
 画的に進められる。

■道 路

昭和40年2月末現在

	道 路 延 長				堅 道	
	総 数	国 道	県 道	町 道	箇 所	延 長
総 数	m 92,934	m 4,000	m 7,300	m 81,634		m
内	舗 装 道	5,493	2,400	800		
	砂利道その他	87,441	1,600	6,500	14	585





■御宿駅乗降客数

	乗車人員	降車人員
昭和36年	631,971 ^人	623,818
37	683,680	676,733
38	754,225	745,768
39	798,432	835,998
39年1月	64,520	62,621
2	61,782	60,766
3	67,357	65,499
4	62,495	63,520
5	61,984	63,286
6	62,303	63,736
7	80,014	95,568
8	95,512	114,030
9	58,981	59,960
10	58,126	59,489
11	61,211	61,971
12	64,147	65,552
計	798,432	835,998

■諸車台数

車種	台数
小型三輪貨物自動車	27
小型四輪 "	101
普通 "	8
小型四輪乗用車	49
普通 "	1
二輪の小型自動車	1
軽自動車、四輪乗用車	6
軽自動車、四輪貨物車	59
" 三輪 "	17
" 二輪乗用車	32
小型特殊自動車(農耕用)	196
原動機付自転車(125cc.)	126
" (90cc.)	77
" (50cc.)	415

■電話加入者数

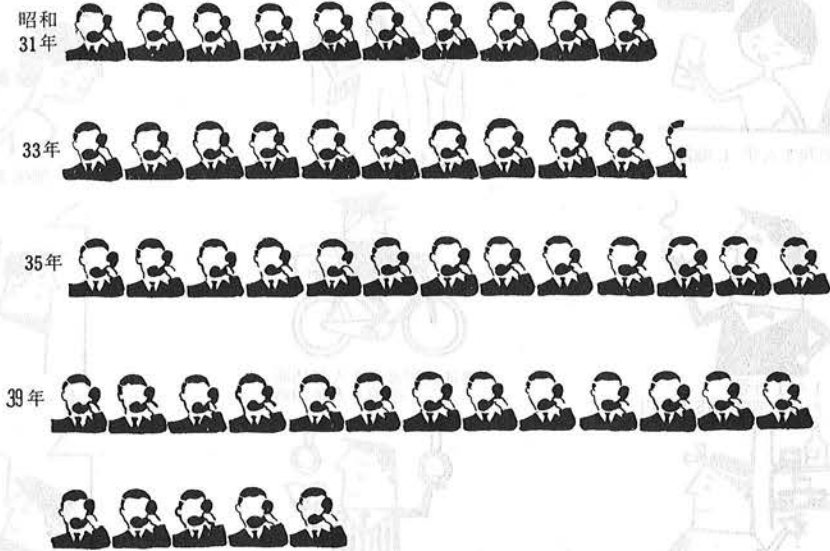
年次	御宿局	布施局	計
36	290	12	302
37	300	12	312
38	325	12	337
39	337	21	358



普及する電話
電話加入者数の推移



(単位 20人)



■通信機関

局名	種別	局員数	集配区域	郵便函	切手売別所
御宿郵便局	集配特別郵便局	30		12	11
布施郵便局	無集配特定局	5	御宿一円	1	1

■ラジオ、テレビの普及状況

年次	世帯数	ラジオ		テレビ	
		台数	普及率	台数	普及率
昭和30年	2,022	1,463	72.0%	4	0.2%
31	2,013	1,490	74.0	7	0.3
32	2,014	1,511	75.0	9	0.4
33	2,024	1,569	78.0	20	1.0
34	2,029	1,449	71.0	74	4.0
35	2,047	1,298	63.0	241	12.0
36	2,046	911	44.5	595	29.0
37	2,050	479	23.3	1,192	58.1
38	2,050	344	16.7	1,454	70.9
39	2,057	189	9.1	1,558	75.7

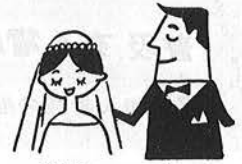
町民の生活



入口9,273人 1世帯 4,4人



出生2,1日に1人



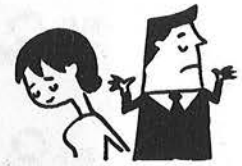
婚姻5,4日に1組



町税1人年 1,887円



死亡4,6日に1人



離婚1年に5組



1年1世帯
タバコ消費額15,300円



普通郵便差出1人年15通
受取1人年29通



転入1日に1人



小売店 12世帯に1軒



御宿駅 乗客1日2187人
降客1日2290人



転出1日に1,3人



テレビ1,3世帯に1台



医師、歯科医師895人に1人



役場職員 町民280人に1人



病院、診療所
995人に1施設



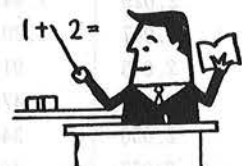
警官2986人に1人



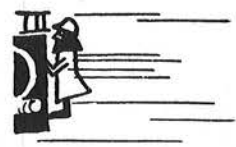
消防職員、団員24人に1人



児童生徒 1世帯1人



小中学校教員 生徒30人に1人



消防車 158世帯に1台